



田口 廣之
議員
(無所属)

問 今回の議会報告会において、パークゴルフ場の利用についての意見があった。

はらっぱコースを含め何コースが大変混雑しているとの指摘があった。

管理運営体制の、見直しを行う必要があるのではないかと、以下伺う。

- ①各パークゴルフ場利用者数と、草刈りを含め管理体制はどうなっているのか。
- ②ルール、マナーを含めた指導体制については。
- ③特に、はらっぱコース等の混雑解消対策は。
- ④十勝管内市町村の有料パークゴルフ場の状況は。
- ⑤本町におけるパークゴルフ場の有料化に対する考えは。

町長 ①パークゴルフ場利用者数は表①のとおりである。

管理については、毎週1回の閉鎖日に行う芝刈りが年25回、清掃

問 パークゴルフ場の管理運営体制について
答 現時点で有料化を実施する考えはない

が27回のほか、年3回の肥料散布などの8業務を委託している。

業務にかかる経費は、委託料のほか、肥料代の現物支給分やトイレのくみ取りなどを含めると、年間におおよそ2500万円程度をパークゴルフコースの管理に要している。

表① コース名	利用者数
ちろっとの森	85,800人
はらっぱ36	79,200人
つつじ	14,000人
サーモーン	12,500人
新田の森	2,800人
さくら	5,900人
エルム	15,900人
俳句村	27,300人
牧水の森	26,700人
やまびこ	7,100人
チャンピオン	9,000人
ファミリー	4,400人

②日本パークゴルフ協会では、パークゴルフニュースでルール解説を載せ、指導員やアドバイザーの講習会で、マナーやエチケット

についての研修を設けて指導・啓蒙に努めている。町内では、幕別パークゴルフ協会会員の皆さんにより、日々の活動の中で指導をしてもらっている。

③団体使用の場合は、事前予約の上使用してもらっている。申込に当たっては、個人利用の方にも配慮するようにお願いしている。

ゴルフ場と異なり、全ての個人利用者の予約を求めることは事実上不可能であり、特段の混雑解消策の実施は難しいと考えている。

④十勝管内の19市町村が運営するパークゴルフ場のうち、現在、有料としているパークゴルフ場がある自治体は、10町村である。

⑤パークゴルフの持つ健康増進効果、発祥の地としての幕別町の責務、パークゴルフ場が公園の一部であり、基本的には誰もが気軽に立ち寄ることのできる場であること、加えて管理上の問題や費用対効果など、さまざまな観点から総合的に検討すべき課題がある。

コミュニティスポーツとしてのパークゴルフの原点があり、現時点で有料化を実施する考えは持ち合わせていないので、ご理解をいただきたい。

再質問 町民が主体となって利用しやすいパークゴルフ場の環境づくり、コース混雑の解消、スピード感を持った観光、町のPRに取り組みむ必要があると思うが。

答 地域の住民の皆さんに十分楽しんでいただきたいため、ご指摘いただいたことなども十分協議して、これから対応していきたい。



はらっぱ36コース